

令和5年度 部の運営方針管理書

部 局 名	都市部
部 局 長 名	中場 聡
部の運営方針	<ul style="list-style-type: none">●第四次総合計画の基本構想に示す基本目標を実現するため関連施策に取り組むとともに、これに即して定めた都市計画マスタープランに示す将来都市構想の実現に取り組みます。・持続可能な都市づくりに向け工業や商業系土地利用の誘導を図るため、事業者や土地所有者をはじめ、関係部局や関係機関との調整を進めていきます。・手賀沼沿い斜面林や古利根沼周辺の保全に努めるとともに、市民の森などの緑地を、市民の憩いの場として保全していきます。・誰もが使いやすい、快適な公園を目指し、適切な維持、管理をするとともに、手賀沼公園における民間活力を利用したオープンカフェのほか、市内の大規模公園においてキッチンカーや露店の出店により、公園の利用促進及び魅力の向上に努めます。・若い世代の定住化に向けた住宅施策を進めます。 ●都市部所管の分野別計画の目標を達成するため、計画的に事業を進めていきます。・コンパクトな都市構造を維持しながら、まちの利便性と活力の向上につなげるため、適正な土地利用を推進します。・緑豊かな都市空間を創出するため、市街地における緑化を推進します。・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行っていきます。・特定行政庁として、総合的な建築行政を進めます。・公園の維持管理への市民の係わりを更に進め、市民がより身近で親しみやすい公園にしていきます。・千葉北西連絡道路については、本市の交通状況等の課題の解消や、市の発展に寄与する計画となるよう、国や県と協議を進めます。また、情報収集に努め、市民等に提供していきます。・公園坂通り沿道まちづくりについて、道路の整備とともに、にぎわいにつながる建物用途の誘導や良好な景観形成など、市民との意見交換を通じて進めます。・市営住宅の将来需要等を見据え、長寿命化を図るとともに、さらなる入居率の向上に努めます。・誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全、形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。・建築物や屋外広告物等の景観を規制・誘導するとともに、市民団体との協働により景観づくりに関する情報を発信し、市民や事業者とともに魅力ある景観づくりを進めます。・誰もが安心して暮らせるように民間住宅の耐震化の支援を行います。

部 局 名	都市部
部 局 長 名	中場 聡
部の運営方針に対する総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ●第四次総合計画の基本構想に示す基本目標を実現するため関連施策に取り組むとともに、これに即して定めた都市計画マスタープランに示す将来都市構想の実現に取り組みました。 ・持続可能な都市づくりに向け工業や商業系土地利用の誘導を図るため、事業者や土地所有者をはじめ、関係部局や関係機関との協議、調整を行いました。 ・手賀沼沿い斜面林や古利根沼周辺の保全に努めるとともに、市民の森などの緑地を、市民の憩いの場として保全しました。 ・誰もが使いやすい、快適な公園を目指し、適切な維持、管理をするとともに、手賀沼公園における民間活力を利用したオープンカフェのほか、市内の大規模公園においてキッチンカーの出店により、公園の利用促進及び魅力の向上に努めました。 ・若い世代の定住化に向けた住宅施策を推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ●都市部所管の分野別計画の目標を達成するため、計画的に事業を推進しました。 ・コンパクトな都市構造を維持しながら、まちの利便性と活力の向上につなげるため、適正な土地利用を推進しました。 ・緑豊かな都市空間を創出するため、市街地における緑化を推進しました。 ・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、基準等の見直しを検討しました。 ・特定行政庁として、総合的な建築行政を推進しました。 ・公園の維持管理への市民の係わりを更に進め、市民がより身近で親しみやすい公園にしていきます。 ・千葉北西連絡道路については、本市の交通状況等の課題の解消や、市の発展に寄与する計画となるよう、国や県と協議を進め、市民等に情報の提供に努めました。 ・公園坂通り沿道まちづくりについて、にぎわいにつながる建物用途の誘導や良好な景観形成など、市民との意見交換を行い、「公園坂通り周辺地区地区計画」を決定しました。 ・市営住宅の将来需要等を見据え、長寿命化を図るとともに、さらなる入居率の向上に努めました。 ・誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全、形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用を推進しました。 ・建築物や屋外広告物等の景観を規制・誘導するとともに、市民団体との協働により景観づくりに関する情報を発信し、市民や事業者とともに魅力ある景観づくりを推進しました。 ・誰もが安心して暮らせるように民間住宅の耐震化の支援に努めました。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 都市部 都市計画課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・都市計画法や都市計画マスタープランに基づき、各部門が関連する計画（柴崎地区産業拠点・下ケ戸地区産業拠点）について調整し、適正な土地利用の誘導に向け必要な都市計画手続きを進めます。
- ・公園坂通り沿道周辺について、「歩きたくなるみち」をコンセプトとしたシンボルロード整備に向け、沿道住民調整を通じた地区計画や景観形成の観点からの沿道づくりを図ります。
- ・千葉北西連絡道路について、市の発展に寄与する計画となるよう関係機関に働きかけるとともに市民へ情報提供を行います。また、その計画等を踏まえ、幹線道路網の検証・検討を行います。
- ・景観法や条例に基づき、市民や事業者との協力により都市景観の形成を進めます。
- ・景観団体と協働し、景観形成に対する市民や事業者への意識啓発を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、すべての事業について取り組みを実施しました。
なお、幹線道路網の検証・検討については、千葉北西連絡道路計画の進捗に合わせる必要があるため、計画の早期具体化に向けて関係機関への働きかけを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

各事務事業は、各部門の関連計画を含む都市計画マスタープランに掲げる目標の実現に向けたものでもあり、各々の段階に応じた取り組みを積み重ね、適切な土地利用の誘導や魅力的なまちのみづくりを推進しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

地権者や事業者の協力、国や県との協議・調整を踏まえながら都市計画決定や許認可などのまちづくりを推進してきます。また、基本計画や都市計画マスタープランの都市づくりに関する達成すべき目標に整合し、関連する計画等の策定や改定を検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	都市計画に関する総合調整	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画制度などを活用し、地区の個性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。 ・産業用地の創出や住工混在の解消に向けた土地利用を図るとともに、千葉北西連絡道路の進捗にあわせて、新たなまちの活性化に向けた土地利用を検討していきます。 		
関連する市の計画等	第四次総合計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指	千葉北西連絡道路	都市計画施設の区域内における建築規制
		R7年度(県)区域MP、区域区分の見直しに係る調整・検討業務	生産緑地地区内の建築規制・誘導
		産業系土地利用の誘導に係る検討業務	地区計画区域内の建築規制・誘導、地区計画制度の普及・啓発
		都市計画決定、変更事務	
		(仮称)公園坂通り周辺地区 地区計画策定業務	
		(仮称)柴崎地区 地区計画策定業務	
		都市計画に関する情報の管理・提供事務	
		我孫子駅前土地区画整理事業 清算事務 紛争予防条例に基づく届出等の受理・あっせん事務	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,592	0	令和4年度 (年度末時点)	3.50	0.80	
令和5年度	当初予算額	1,231	0	令和5年度	4月1日時点	3.50	0.80
	補正後予算額	912	0		年度末時点	3.50	0.80
	決算額	780	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	地区計画策定の進捗率	%	目標値	30	50	100	100	100
			実績値	30	50	100		
活動 指標	千葉北西連絡道路の要望回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	まちづくり懇談会等を経て公園坂通り周辺地区地区計画の策定を行いました。また、市の経済や土地利用に影響を与える千葉北西連絡道路の早期実現に向けて、国に対し要望活動を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市計画マスタープランの「土地利用に関する方針」や「市街地環境整備に関する方針」で掲げる地域特性に応じた土地利用や「都市の魅力向上に関する方針」で掲げる拠点整備のために必要な事業であるため、引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観形成に係る規制誘導
	担当部署名	都市部 都市計画課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの 充実を図ります。
事務事業の目的 ・概要	屋外広告物の設置規制や建築物などの景観誘導により、手賀沼をはじめとする自然景観や歴史・文化的景観など地域資源を活かしたまちなみを形成して いきます。	
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観形成基本計画、環境基本計画、緑の基本計画、観光振興計画、文化財保存活用地域計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	屋外広告物の表示等に係る指導及び許可	
	違反広告物の簡易除却	
	民間事業者による開発行為や建築行為等に係る景観規制・誘導	
	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景観誘導	
	野立ての太陽光発電設備の立地誘導	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	73	0	令和4年度 (年度末時点)	1.50	0.70	
令和5年度	当初予算額	90	0	令和5年度	4月1日時点	1.50	0.70
	補正後予算額	90	0		年度末時点	1.50	0.70
	決算額	55	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	違反広告物の簡易除却件数	件	目標値	1,200	800	750	700	650
			実績値	669	205	112		
活動 指標	民間事業者による景観計画区域内行為の事前協 議済率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景 観協議済率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	建築物等の色彩及び屋外広告物の大きさ・色彩等の規制・誘導は、手賀沼などの景観資源と調和した良好かつ魅力的なまちなみづくりに不可 欠です。そのために行っている事前協議済率は100%を維持できており、順調です。 まちなみの美観を損ねる違反広告物の除去件数が減少しているのは、違反広告物自体が減ってきているためであり、良い傾向です。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市計画マスタープランの「都市の魅力向上に関する方針」で掲げる地域の特性を活かした都市景観の形成に必要な事業です。なお、今後の 課題として、上位計画や関連計画の改定・策定を踏まえ、我孫子市の景観づくりの方針や基準等の見直しを検討します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観まちづくりの普及啓発	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの 充実を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めてい きます。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観形成基本計画、環境基本計画、緑の基本計画、観光振興計画、文化財保存活用地域計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	市内の魅力な景観に関する情報の発信		
	景観ポイントの魅力化		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工		
					正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	186	0	令和4年度 (年度末時点)	1.00	0.10	
令和5年度	当初予算額	624	0	令和5年度	4月1日時点	1.00	0.10
	補正後予算額	624	0		年度末時点	1.00	0.10
	決算額	594	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	市民団体によるハケの道の魅力化活動への支援 回数	回	目標値	3	2	2	2	2
			実績値	1	3	2		
活動 指標	「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	良好な景観の保全・形成には市民・事業者・行政の連携・協力が不可欠です。景観形成の重要性について市民等の理解をより一層深めていく ため、市民等の景観まちづくり活動への支援や景観に関する普及啓発事業を継続する必要があります。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好な景観の保全・形成に不可欠な市民・事業者・行政の連携・協力の推進に大きく寄与する事業であるため、より効果を高められるよう事 業手法を工夫しながら引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幹線道路網などに関する調査・検討	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	市内の交通状況や道路の整備状況、国が検討を進めている千葉北西連絡道路の進捗に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	幹線道路網の見直しに関する研究・調整		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	0.40	0.00	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	0.40	0.00
	補正後予算額	0	0		年度末時点	0.40	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	関係機関との協議回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	0	0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	国において、千葉北西連絡道路の検討が進められている段階であるため、市の幹線道路網の見直しに係る関係機関との協議は開始できていません。しかし、将来の市内幹線道路網や土地利用に大きく影響を与える広域幹線道路の計画であるため、引き続き国の検討状況を把握するとともに、市の方針と整合を図りながら調整を行います。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	利便性や経済活動を支える幹線道路網は効果的に計画・配置する必要があります。なお、その見直しには影響が想定される千葉北西連絡道路の計画を踏まえながら行います。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 都市部 建築住宅課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・良好な住環境を形成していくため、建築指導行政及び各種許認可事務を的確に実施します。
- ・我孫子市耐震改修促進計画に基づき、耐震化の必要性に関する啓発及び知識の普及を行うとともに、住宅の耐震診断及び耐震改修にかかる費用について助成事業を実施します。
- ・多様な住生活のニーズに対応するため、住宅に関する各種相談業務及び情報提供を継続的に実施します。
- ・定住化の促進及び空き家の発生抑制並びに空き家等の流通の活性化を図るため、住宅リフォーム補助事業及び空き家バンク事業を実施します。
- ・マンション管理の適正化の推進を図るため、マンション管理計画認定制度、マンション管理アドバイザー派遣制度、マンション問題個別相談会及びマンション管理セミナーを実施します。
- ・我孫子市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の長寿命化に資する予防保全的な管理や改善を計画的に推進するとともに、入居率の向上に向けた入居者募集を実施します。

2. 課の目標への取組結果

令和5年度の部の運営方針に沿って設定した建築住宅課の目標について、適切な取り組みにより、概ね達成できたものと判断します。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

適切な取り組みにより、概ね達成できたものと判断します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・特定行政庁の業務執行に要する適正な人員確保や多様化する業務に合わせた情報収集、スキルアップが必要です。
- ・住宅政策については、さらに効果的な事業となるよう、引き続き周知手法や事業内容について検討していきます。
- ・市営住宅の運営については、長寿命化計画に基づく適正な維持管理を行っていくために適切な予算確保が必要です。また入居率の向上に向けた取り組みを強化していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築物に係る防災対策事業	
	担当部署名	都市部 建築住宅課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、耐震診断や耐震改修への支援、耐震性などに優れた住宅の認定、損傷や劣化のある建築物への指導などにより、建築物の防災対策を推進します。		
関連する市の計画等	我孫子市耐震改修促進計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	建築物等の定期報告の受理及び改善指導		
	耐震診断及び耐震改修に関する補助業務		
	長期優良住宅等の認定業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	650	0	令和4年度 (年度末時点)	1.45 / 0.04
令和5年度	当初予算額	3,854	0	令和5年度 4月1日時点	1.30 / 0.04
	補正後予算額	50	0		
	決算額	50	0	令和5年度 年度末時点	1.30 / 0.04
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	長期優良住宅認定申請	件	目標値	111	117	117	117	117
			実績値	124	129	160		
活動 指標	木造住宅耐震セミナー・相談会 申込組数	組	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	2	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	木造住宅耐震セミナー・相談会申込組数は指標の目標値を下回りましたが、長期優良住宅認定申請件数は指標の目標値を上回っていることから、滞りなく事業実施できたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市耐震改修促進計画に基づき、今後も建築物の防災対策を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築行為に係る審査・指導・認定等の業務	
	担当部署名	都市部 建築住宅課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	違反建築物の処置業務		建築に関する報告および閲覧・証明業務
	各種届出の受理及び指導業務		
	狭あい道路 (建築基準法第42条第2項道路) の拡幅指導と支援		
	建築に関する指導および審査業務		
	建築基準法に基づく許可及び認定業務		
	審査会及び審議会に関する業務		
	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務		
	道路の指定に関する業務		
民間確認検査機関報告書の事務処理業務			
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工		
					正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	2,794	0	令和4年度 (年度末時点)	6.40	0.56	
令和5年度	当初予算額	3,001	0	令和5年度	4月1日時点	5.80	0.56
	補正後予算額	3,001	0		年度末時点	5.80	0.56
	決算額	2,953	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	建築確認処理件数	件	目標値	621	587	587	587	587
			実績値	672	707	688		
活動 指標	建築計画概要書等の写し・証明交付件数	件	目標値	1,823	1,935	1,935	1,935	1,935
			実績値	2,169	2,314	2,213		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	指標の目標値を達成できていることから、適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好なまちづくりを進めるという目標に不可欠な事業であるため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	住居に関する相談・支援
	担当部署名	都市部 建築住宅課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの 充実を図ります。
事務事業の目的 ・概要	誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。	
関連する市の計画等	地域住宅計画(我孫子市地域)、マンション管理適正化推進計画	
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	指 若い世代の住宅取得支援事業	
	住宅リフォーム補助事業	
	我孫子市増改築等施工業者紹介制度	
	住宅・不動産相談業務及び住宅情報提供業務	
	マンション管理に関する支援事業	
	我孫子市空き家バンク制度	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	37,963	0	令和4年度 (年度末時点)	2.10	0.00	
令和5年度	当初予算額	43,890	0	令和5年度	4月1日時点	2.70	0.00
	補正後予算額	41,918	0		年度末時点	2.70	0.00
	決算額	40,573	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	若い世代の住宅取得支援事業 申請件数	件	目標値	231	267	267	267	267
			実績値	204	238	246		
活動 指標	住宅リフォーム補助事業 申請件数	件	目標値	213	263	263	263	263
			実績値	267	231	232		
活動 指標	住宅・不動産相談 受付件数	件	目標値	-	30	30	30	30
			実績値	0	11	25		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	若い世代の住宅取得支援事業については、令和6年度をもって事業を終了します。その他相談・支援事業については、効果的な制度の周知を検討するとともに、関連する専門家団体等と連携し、相談者等の状況や段階にあわせた支援および情報提供の充実を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市営住宅の管理・運営	
	担当部署名	都市部 建築住宅課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの 充実を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	住宅に困窮する人に対し、安全で質の高い住宅を供給するため、市営住宅の適正な管理・運営を行います。		
関連する市の計画等	地域住宅計画(我孫子市地域)、第5次行政改革推進プラン(公営住宅のあり方検討)、公営住宅等長寿命化計画		
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	市営住宅使用料調定及び徴収事務		
	市営住宅入居者管理業務		
	市営住宅維持管理業務		
	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	39,272	0	令和4年度 (年度末時点)	3.15 / 0.00
令和5年度	当初予算額	33,736	0	令和5年度 4月1日時点	3.20 / 0.00
	補正後予算額	35,170	0		
	決算額	34,945	0	令和5年度 年度末時点	3.05 / 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	市営住宅入居者募集にかかる応募倍率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	75.0	86.5	94.4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	指標の目標値は達成できなかったものの、すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	長寿命化計画に基づいた市営住宅の長寿命化を図るとともに、適正な管理・運営に努めます。

令和5年度 課の目標管理書

課 名：都市部 公園緑地課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・緑の基本計画で掲げる緑の将来像を実現していくため、計画の基本方針「我孫子らしい緑を保全・活用する」「核となる緑を整備・活用する」「多様な緑が輝くまちなみを創出する」「緑を楽しむ意識づくりと活動支援を進める」に則り、緑づくりの施策を推進していきます。

・斜面林など手賀沼を取り巻く自然環境の一体的な保全に努めます。

・古利根沼の保全と再生を進め、市民が水辺、樹林地などの自然にふれあえる憩いの場とします。また、市民参加による里山づくりなど、多様な生物生息空間の保全・再生を図り、自然にふれあえる場として活用します。

・公園・緑地の持つ機能に配慮し、地域資源（史跡、人や文化財など）を活用しながら、市街地で公園の不足している一部の地域において適正な配置の検討します。また、防災やコミュニティの場など市民ニーズに即した公園の整備を進めます。また、市内大規模公園における魅力向上の取組として、キッチンカーや露店の出店を行っています。

・誰もが安全に安心して公園を利用できるよう遊具の定期点検や老朽化した公園施設の修繕を図るなど適正な維持管理を行います。利用者の実態に合わせ老朽化した遊具の更新や憩いの場となるよう子どもたちをはじめ、みんなが魅力を感じる公園づくりを行っています。

・手賀沼周辺の魅力向上の取組として、手賀沼公園における民間活力を利用し整備されたオープンカフェを活用していきます。また、手賀沼遊歩道については、手賀沼遊歩道維持管理計画に基づき植栽等の維持管理をしていきます。更に、利用者の安全性を確保するため経年により傷んだ路面や樹木の根により隆起した路面の舗装修繕や手賀沼親水広場前の遊歩道岸辺で洗堀が著しい箇所の護岸工事を行うための詳細設計を行います。

・市民手づくり公園制度の推進、みどりのボランティアの充実を図り、市民が自主的・主体的に公園づくりや里山づくりなどの活動に参加できるしくみを充実させます。

・公園の花壇など公共施設の緑化をはじめ、地域で一体的な緑化を進めます。

・手賀沼親水広場近くの手賀沼遊歩道のさくらのライトアップを行い、夜桜の観光スポットとして、手賀沼遊歩道の魅力向上に努めていきます。

・生産緑地の買取の申出にあたって、公園用地としての買取の検討や公共施設用地としての買取希望に関する照会などを行います。

・貴重な緑地の保全や公園用地を確保するため、緑の基金の充実に努めていきます。

・都市公園関係法令及び我孫子市都市公園条例等に基づき、適正な公園利用の指導と許可を行います。

・墓地、埋葬等に関する法律及び我孫子市墓地等の経営の許可等に関する条例等やその他関係法令に基づき墓地経営予定者に対し、適正な指導、審査を行います。

2. 課の目標への取組結果

・緑の基本計画に則り、市民の森、手賀沼沿い斜面林などの保全緑地、公園の維持管理を適切に実施しました。

・手賀沼遊歩道維持管理計画に基づいた植栽等の維持管理を行い、経年等により傷んだ手賀沼遊歩道の補修工事を実施しました。

・市民手づくり公園の推進、みどりのボランティア・公共施設の花壇活動の充実、手賀沼遊歩道のさくらのライトアップ等を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

気象台記念公園松枯れ対策業務委託については、現地確認に時間を要し令和6年度に繰越して実施することになりましたが、そのほかの取組は、課の目標で示した方針に基づき、予定通り実施しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

草刈や樹木の剪定などに加え、市内にある公園の多くが、設置後30年以上経過し、老朽化した遊具など施設を更新することが急務となっており、公園施設の維持管理に係る経費（予算）の増加が見込まれます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼遊歩道の再整備	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的 ・概要	誰もが安全で快適に手賀沼の水辺に親しめるよう、手賀沼遊歩道の利用促進を図っていきます。		
関連する市の計画等	手賀沼遊歩道維持管理計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	手賀沼遊歩道の樹木管理、舗装等修繕事業		
	さくらプロジェクト		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	2,138	0	令和4年度 (年度末時点)	1.12	0.00	
令和5年度	当初予算額	7,666	0	令和5年度	4月1日時点	1.90	0.00
	補正後予算額	6,632	0		年度末時点	1.90	0.00
	決算額	6,471	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	篠竹の駆除	回	目標値		1	1	1	
			実績値		1	1		
活動 指標	ツツジの褐斑病対策	回	目標値		1	1	1	
			実績値		1	1		
活動 指標	舗装及び路肩修繕工事	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	手賀沼湖岸洗掘箇所の改良工事進捗率	%	目標値				25	100
			実績値		0	0		
活動 指標	灯具の基数	個	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	30	30		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な維持管理や、季節に合った演出を行うことで、手賀沼遊歩道の環境美化や魅力向上、利用者の拡大につながりました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、手賀沼遊歩道の魅力向上・交流人口の拡大に努め、適正な維持管理や利用促進の施策を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の再整備
	担当部署名	都市部 公園緑地課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-5 利用したくなる公園の整備
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適に公園を利用できるよう、利用者のニーズに対応した公園の整備を進めます。 地域にとってより魅力的で憩いの場となるよう、公園の再整備や適正な配置に努めていきます。 	
関連する市の計画等	緑の基本計画、第5次行政改革推進プラン(公園のあり方検討)	
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	指	利根川ゆうゆう公園の施設整備・適正利用の推進
		気象台記念公園の整備
		公園のバリアフリー化推進
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,438	0	令和4年度 (年度末時点)	1.22	0.00	
令和5年度	当初予算額	12,993	0	令和5年度	4月1日時点	2.00	0.00
	補正後予算額	12,851	0		年度末時点	2.00	0.00
	決算額	12,676	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討	件	目標値	4	4	4	4	6
			実績値	0	1	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	老朽化している施設の更新や適正な樹木管理を行い、公園の安全な利用や適正な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、快適な環境で安全・安心に利用できるよう公園の整備を進めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の維持管理	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-5 利用したくなる公園の整備	
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安全に安心して利用できるよう、公園施設の点検を実施し、必要に応じて老朽化した遊具など公園施設の更新を行います。 誰もが利用したくなる公園とするため、施設の適正な維持管理を行っていきます。 より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を進めていきます。 		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン(公園灯のLED化)		
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	公園の維持管理		
	公園許可事務		
	公園施設維持管理		
	公園清掃(自治会委託)		
	市民手づくり公園事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	195,571	3,575	令和4年度 (年度末時点)	3.83 / 6.60
令和5年度	当初予算額	271,702	2,342	令和5年度 4月1日時点	4.45 / 5.40
	補正後予算額	281,412	2,342		
	決算額	264,351	2,342	令和5年度 年度末時点	3.70 / 5.40
	次年度へ繰越	14,971	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha	目標値	150	150	151	151	153
			実績値	150	150	150		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	良好な維持管理を継続し、公園の魅力向上や更なる利活用を促進しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、誰もが安全・安心して利用できるよう公園の適正な維持管理に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑の基本計画の進行管理	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	公園緑地施策の基本となっている緑の基本計画の進行管理を行い、公園緑地施策の方向性を確認、検証していきます。		
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	緑の基本計画の進行管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,882	0	令和4年度 (年度末時点)	0.90	0.00	
令和5年度	当初予算額	538	0	令和5年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	538	0		年度末時点	0.90	0.00
	決算額	440	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	緑の基本計画の進行管理	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	昨年度に実施した緑の基本計画の見直し完了に伴い、製本作業を実施し、各関係者へ配布を行った。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市緑地法に基づく計画であることから、今後も適正な時期に更新(改正)を行う。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑地の保全と緑化推進	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携などにより古利根沼の水辺と周辺樹林地、市民の森などの緑づくりを進めていきます。 くらしの中で自然が感じられるよう、条例に基づき指定した緑地を保全していきます。 緑豊かなまちづくりを推進するため、市民などの主体的な活動に対する支援や、公共施設などの公共空間の緑化を進めるとともに、緑化の誘導を図ります。 		
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	市民の森維持管理		
	みどりのボランティアの充実		
	古利根沼周辺の保全と整備		
	手賀沼沿い斜面林維持管理		
	保存緑地・保存樹木		
	緑化推進		
	生産緑地事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	27,034	0	令和4年度 (年度末時点)	1.28	0.00	
令和5年度	当初予算額	19,757	0	令和5年度	4月1日時点	1.30	0.00
	補正後予算額	21,429	0		年度末時点	1.25	0.00
	決算額	20,655	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	古利根沼周辺の保全と整備：保全活用面積	h a	目標値	19	20	20	20	20
			実績値	19	19	19		
活動 指標	保存緑地指定面積	㎡	目標値	223,657	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	223,657	207,058	205,406		
活動 指標	市民の森維持管理：適切に維持管理された緑地面積	h a	目標値	4	4	5	6	8
			実績値	3	3	3		
活動 指標	緑化推進：花壇用苗木等の提供により緑化を図っている公共公益施設数	ヶ所	目標値	50	51	52	53	55
			実績値	34	38	36		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	緑の活動団体と協働・連携により、市民の森など市内の森林の適切な維持管理や公園・公共施設の花壇活動が活発に行われ、我孫子市の緑化推進・環境美化の一助となった。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	緑の保全や緑化推進・環境美化を維持していくため、緑の活動団体と協議・連携しながら事業を進める。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 都市部 市街地整備課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・ 開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行っていきます。

・ 都市計画法令に違反する宅地開発事業の是正に努めるとともに、未然に防止するための必要な措置を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおりの取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

取組結果に対する評価については、事務事業「開発行為に係る指導・許可等の事務」の評価値が「順調」、「宅地耐震化推進事業」の評価値が「ほぼ順調」であることから、目標のとおり推進できたと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

秩序ある良好な土地利用の誘導、違反宅地開発事業の是正と未然に防止する措置を講じることや宅地耐震化推進事業などの事業を推進するためには、所属する職員一人一人が都市計画法令など必要とされる専門知識を正確に身につけ、実践力を向上することや体制強化を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	宅地耐震化推進事業	
	担当部署名	都市部 市街地整備課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	大地震に備えて市民の地域防災に対する意識向上を図るため、大地震により滑動崩落の恐れがある大規模盛土造成地について、ハザードマップなどにより情報提供していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	第二次スクリーニング計画の精査		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	1.20	0.00	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	0	0		年度末時点	1.00	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	第二次スクリーニング計画の精査	%	目標値	50	100	100	100	100
			実績値	50	75	90		
活動 指標	第二次スクリーニング	箇所	目標値			1	1	1
			実績値			0		
成果 指標	第二次スクリーニング調査完了割合	%	目標値			3	6	15
			実績値			0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	法改正に伴う国や県の動向を確認しながら、第二次スクリーニング計画について精査を行った。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法改正に伴い千葉県との事務分担の確認、事業を進めるうえで必須となる専門知識を有する技術職員の確保及び体制強化、複数年にわたる事業となることから将来を含めた事業費の確保などが課題。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	開発行為に係る指導・許可等の事務	
	担当部署名	都市部 市街地整備課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務		
	違反宅地開発事業是正指導事務		
	国土利用計画法に基づく土地売買等届出書に係る事務		
	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務		
	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務		
	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務		
	都市計画法第43条に基づく建築許可事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	494	0	令和4年度 (年度末時点)	4.80	0.00	
令和5年度	当初予算額	113	0	令和5年度	4月1日時点	5.10	0.00
	補正後予算額	113	0		年度末時点	5.10	0.00
	決算額	78	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	都市計画法第29条の許可事務	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	都市計画法第32条の事前協議事務	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	都市計画法第43条の建築許可事務	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	国土利用計画法に係る届出事務処理	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	公有地の拡大の推進に係る事務処理	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果 指標	都市計画法第29条の許可率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果 指標	都市計画法第32条の事前協議締結率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	各種事務手続き等について、概ね適切に事務処理を行った。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生産緑地の指定30年経過による指定解除に伴う土地活用の増加及び大規模化が想定されるなか今後も引き続き適切な事務処理を行うため、さらなる人材育成及び体制強化が課題。